

学校だより

大津市立葛川小中学校

平成27年11月号

平和の尊さ学ぶ

11/6～7の1泊2日で、本校の5・6年生が修学旅行に行ってきました。少人数なので、2年に1回の実施。1日目は、瀬戸内海に浮かぶ大久野島の国民休暇村に宿泊しました。大久野島は周囲約4kmの小さな島で、まさにウサギの楽園。

700羽を超えるウサギがあちこちを走り回り、人が歩いているとウサギの方から近寄ってきます。つつい手を出して、なでてやりたくなり、えさをやる人も多いです。ウサギの「かわいさ」に、子どもも大人も心が和むひと時でした。



午後からの活動では、竹竿に簡単な仕掛けの釣り道具で、海釣りに挑戦しました。眼下には時折、数10cmを超える黒鯛が近づいてきて、みんなの注目を集めていましたが、釣れたのは、15cm程度の魚が数匹でした。短時間でしたが十分に楽しめました。



その後、休暇村のスタッフの方に道先案内をしてもらい、サイクリングしながら島めぐりをしました。大久野島は先の犬戦中、日本軍が「毒ガス」を製造していたという悲しい歴史があります。

「毒ガス」の貯蔵庫や砲台跡、発電所跡などを案内していただきました。

続いて、島の高台に「山頂アタック」しました。坂道をどんどん登り、頂上に出た頃には、写真のような真っ赤に焼けた夕日が沈むところで、葛川では見られないすばらしい光景に、感激の言葉が漏れました。



夕食は、室内でバーベキューをしました。男女3人ずつで、それぞれの鉄板をジュージューいわせて楽しく食べました。食欲は女子の方が旺盛で、男子の残したお肉などをもらっていました。



2日目は、休暇村船で忠海港へ向かい、待機していたジャンボタクシーに9人が乗り込み、広島平和公園へ直行しました。ボランティアガイドの石原智子さんから原爆が広島に投下された

当時の生々しい体験談を聞かせていただきました。石原さんは、原爆が投下されたときお母さんのお腹の中にいて、自らも被爆されました。「原爆の恐ろしさ」や「戦争の愚かさ」を熱心に語ってくださいました。

自分が最後の被爆者として、世界に向けて「平和メッセージ」を送り続けることを使命として生きておられることを知り、強く感動しました。子どもたちは、この修学旅行で楽しい思い出と共に、平和な世の中を築くためには、努力が必要であることを学んでくれたと思います。



<平和セレモニー>

学校保健委員会を開催

11月5日(木)に学校保健委員会を開催しました。学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者、教職員で「子どもの健康」について話し合いました。

今年のテーマは「よりよい生活習慣」です。排便に関わるアンケート調査の結果を説明した後、4つのグループに分かれて「子どものよりよい生活習慣」を目指して、意見交流しました。

あるグループでは、朝ごはんを生活の基本と捉え、朝ごはんについての考えを皆で出し合いました。また、別のグループでは、携帯電話やゲーム機の使い方についての話題が出され、時間の使い方の工夫をテーマに話しました。



今回は、校医の先生も一緒のグループに入っていたき、身近にお話をしていただけました。こういったことは、本校ならでは出来ることかと思えます。出された意見は今後の学校保健活動に生かしていきたいと考えています。ご出席くださった保護者の皆様、どうもありがとうございました。

5・6年部活動体験始まる

今年の小学生の部活動体験は、5年生以上を対象としています。昨年より始まったこの活動ですが、小学生がとても楽しみにしています。中学生に交じって、体育館を走る小学生の姿は、いつもよりたくましくがらばっているように見えました。また、教える側の中学生の張り切る様子も印象的でした。



部活体験のねらいは、①スポーツに親しみ、基礎体力を向上させる。②部活動を通して小中の連携を強化する。③部活動の活性化です。第1回目は、

10月29日に行いました。今後、3月まで月に2回程度実施する予定です。